

広 報 た な べ

田 辺 町 役 場

TEL 山城田辺
07746-0-0271

発行人 京 都 府 田 辺 町
企 画 文 書 課
印刷所 奥 田 印 刷 K K

ふるさとを行く・25



(フォート田辺所属・田原双美さん撮影)

昭和44年をおくる

ことしもあとわずかとなりました。みなさんのこの一年間はいかがでしたか。私も緑のある健康な町づくりをすすめるため、「楽しい生活をみちびく環境づくり」「老人や子供の幸せを生み出す社会づくり」「産業をのびし明るい家庭づくり」の三つの柱をキャッチフレーズとし、みなさんのあたたかいご協力をえて、町議会や町職員と力をあわせ、がんばってまいりました。みなさんご一家のおすこやかな新春をお祈りして……。

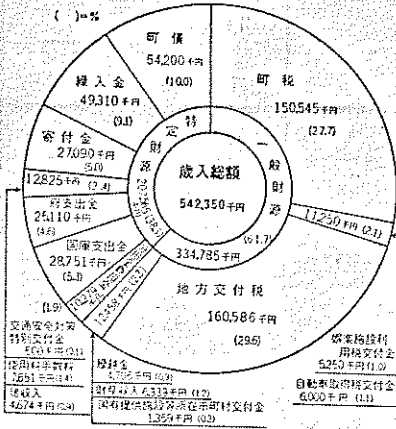
田辺町長 原 田 喜 代 次

'69. 12

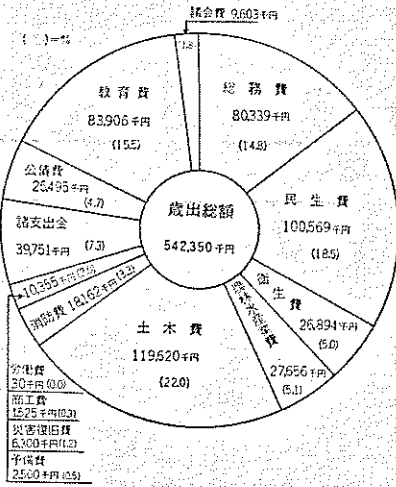
No. 72

毎号とじて保存しましょう

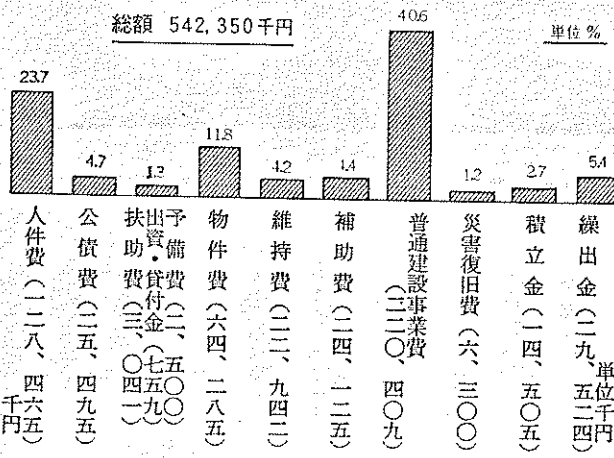
歳入の構成比



歳出の構成比



歳出のうち、性質別内訳



町台どころ

健全な財政の歩み

建設事業費は四十二%

現在、本町の一一般 () 分担金、寄付金など使途の指 会計予算の総額は五 定されたもの、あるいは制限され 億四千万円を越え、 た、いわゆる特定財源となってい 人口一人あたりの予 ます。

このように、特定財源よりも一 算額は二万七千六百 一般財源の占める割合がたかとい うことは、それだけ町財政の運営 にはばがで町行政推進の大きな 見ますと、収入では 力となるわけです。

一般財源 (町税、地 方交付税など、その が二十二パーセント、民生費が十 九パーセント、教育費十六パーセ ント、総務費十五パーセント…… 財源) が約六十二パ ーセントを占め、残り三十八パー セントが地方債 (長期の借入金) ・ 国・府支出金 (国や府の補助金な ど、人件費二十四パーセント、物 資費十二パーセント、建設事業費 では実に四十二パーセントとなっ ています。

このように本町の財政は、いま 康で明るい町づくりに、まい進し ています。しかし、本町の人口も すでに二万人を越え、宅地開発が すすむにしたがつて人口増加もこ れからは急激になってゆきます。

それにつれて、財政負担もかなり 見込まねばなりません。いま、財 政力に余力があっても、決して楽 観はできません。 前途は多難であります。効率 的な財政運営で積極的な行政を進 めたいと考えます。

私たちのくらしは、国が、府 が、町が、それぞれの分野におい て、それぞれの責任で活躍するこ とにより、ささえられているので す。

このうちのどこかが私たちのく らしから少しでも目をそらせば、 それだけ私たちのくらしにひずみ がでてきます。ですから私たち 住民は、つねにそれぞれの財政運 営と施政方針に注目している必要 があるわけです。

以上が一般会計の予算の状況で すが、本町にはこのほか、つぎの ような特別会計があります。

- 住宅改修資金貸付事業 一、四七一千円
- 土地取得 三九、五一〇千円
- 松井財産区 三一七、二四三千円
- 公営企業水道事業 収入七四、一三六千円 支出六九、九一七千円
- (水道事業会計は、企業会計の ため、他の予算の形式とは違った 經理のしかたで行っています。)
- 以上が本町の財政の状況です が、水道事業会計を除いて、各会 計の予算総額は九億九千九百十二 万円となっております。



優秀な査閲の成績

団員三百二十名が参加

出ぞめ式上で受彰する 学校の給食室から出火し本館へ延
 ことにきまりました。 焼、全団員出動せよ」という想定
 力強い行進！ のもとに行われた
 秋晴れの六日、岡本 ものです。

消防団長の総指揮に消 田辺小学校の児
 防団員三百二十名は捕 童のみなさんは先
 つつみ、まず団員か 場の誘導で安全な
 らはし ます。

具の点
 機器
 まり、

検、基本動作であ

る各個の訓練、

小、中隊訓練、札

式、分列行進、ポ

ンプ操法のあと、

放水訓練などを多

数の参観者の前に

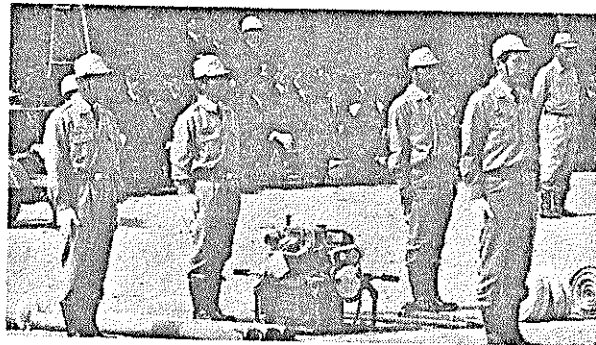
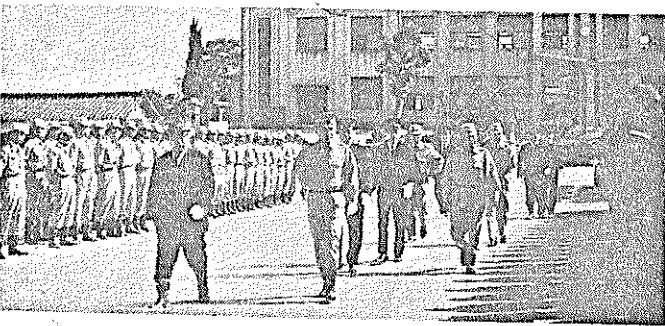
披露しました。

中でも、放水訓

練は「火災警報発

令中の午前十一時

五十七分、田辺小



写真は、査閲官の島田府総務部
 参事らの団員やポンプ操法の風
 景

た。そして田辺小
 学校の本館二階屋
 上には、発煙筒が
 たかれ、消防車二
 台、小型ポンプ四
 台が、これに出動
 し、見事な放水の

飲酒運転を 追放しよう！

44.12.10(水)～45.1.15(木)
 年末年始……
 運転するときは、絶対に酒を飲
 まない。
 運転する人には、絶対に酒を飲
 まさない。

田 辺 町
 田辺町交通対策協議会

火の用心

あわたぶしい年のくれ……
 おでかけ前やおやすみ前には火
 のもとをたしかめましょう。

火事ときは、早く
 場所をはっきりと

でんわ 一一九番へ

田 辺 町 消 防 団

腕さばきを 員三百六十八名、消防ポンプ自動
 みせまし 車(四輪)、二台、手引き動力ポ
 た。 ンプ二十五台があり、さらにこと
 毎年、消 しては小型動力ポンプを八台購入し
 防力を強 それぞれ町内各部に配置していま
 化！ す。
 町の消防 また消防の水利施設は、消火栓
 力も年々、 が四十六か所、井戸や防火水槽が
 強化充実し 十二か所あります。
 いまでは団

楽しかった町民運動会・スナップ特集

第五回田辺町民運動会は、ことし十月十二日(日)田辺中学校のグラウンドで行ないました。

この運動会は、町と町教育委員会が、町社会体育協会や町政協力員さんなどの協力をえて毎年開いているものです。

この日のハイライト、知事杯は、男子八百メートル・リレー優勝の田辺チームに、また町長杯は女子四百メートルリレー優勝の森チームに贈られました。

本号は当日のスナップ特集です。写真をごらんになりたい方は、町教委委員までお申し出ください。

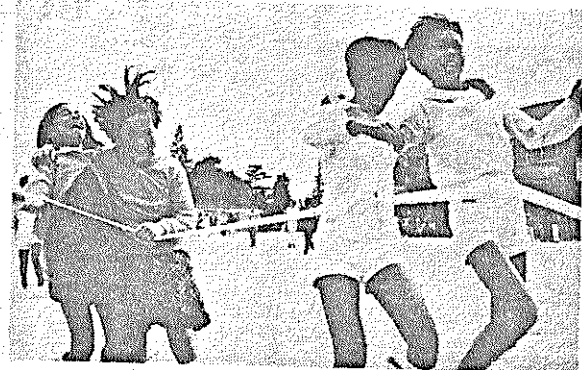
撮影 フォット田辺町民運動会写真班



パンがゆれて、うまく口に入りませんでした



「嫁さがし」のアベックさん! お染久松がいつもトップ

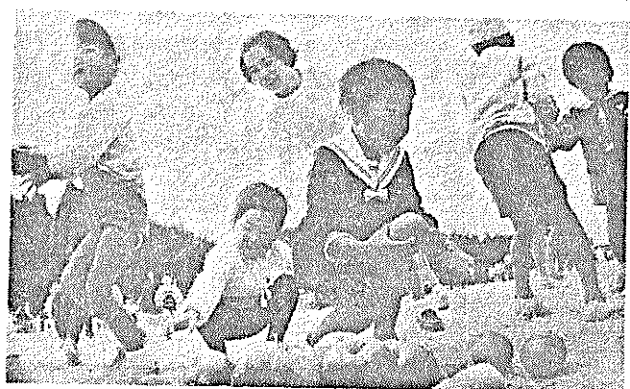


二人三脚は児童生徒のみなさんがじょうずですネ



↑家族そろって楽しいひととき

ことしから加わった綱引き競技→



↑毎年人気のあるリンゴ拾い・おばあさんも紅白玉入れに参加↓



そういわず まあ一杯が事故のもと

家族ぐるみで

交通災害共済に加入しよう

自動車の急増で交通事
故があとをたない現代
です。いつ、どこで、誰
れが交通事故の犠牲にな
るかわかりません。

そこで町では、町民全員の加入
を目標に「交通災害共済」に加入
を呼びかけています。

現在では、加入者も三、三七四
名です。また加入をしていない人
は一日も早く加入されますよう、
おすすしめします。

一人一日一円の掛金で、年に三
百六十五円。そのうち三十五円は

町が負担をします。不幸にも事故
の犠牲になり、死亡した時は五十
万円。六か月以上の事故で入院は
十万円。三か月以上は五万円。一
か月以上は三万円。七日以上は五
千円のそれぞれの災害見舞金を受
けられます。

なお、昭和四十四年十二月一日
現在で町内で見舞金をうけられた
人の内訳は、

死者一人。六か月以上一人。三か
月以上三人。一か月以上七人。七
日以上、二人の計十五人で九十五
万円となっています。

みんなそろって

明るいお正月を 歳末たすけあいにご協力を

町の福祉事業にご協力
をいただきありがとうございます。
さて、ことしも十二月
五日から歳末たすけあい募金運動
を行っています。

赤い羽根募金
三三三、七七一円

ありがとうございます

町内で、生活保護法等による扶
助を受けている家庭や長期にわた
って入院し加療中の患者の人や老
人ホーム等で淋しく暮しているお
としよりの人たちに、みなさんの
温かい心もちをおとどけたいと
思います。

募金は、婦人会のみなさんにご
家庭を訪問していただきます。婦
人会の結成されていないところは
は、町政協力員さんにおねがいし
ています。みなさんのご協力をお
待ちしています。

ことしの赤い羽根の募金運動は
町内のみなさんのご協力で総額、
三十七万三千七百七十二円も集ま
りました。内訳は、町内各地区にお
ねがいがいしたのが三十三万二千六百
六十六円。大口の募金が二万四千
六百四十二円。町内各駅前などの
街頭募金が一万六千四百六十四円
でした。ご協力ありがとうございました。

◇一月

- 7・田辺町消防団初出式ひら
- 8・町内小・中学校始業式
- 15・田辺町成人式ひらく
- 16・郡農業青年のつどいひら

◇二月

- 28・郡農業婦人のつどいひら

◇三月

- 2・新田辺東住宅自治会が発
- 13・町議会ひらく
- 22・母子家庭にランドセル贈
- 31・田辺町農業協同組合発足

◇四月

- 1・田辺町農協合併式
- 1・子どもを交通事故か
- 5・新田辺東住宅自治会、防
- 6・町内保育所入所式
- 7・町内小学校入学式
- 8・町身体障害者協会総会
- 9・町戦没者、五百六十七柱
- 15・町婦人会幹部研修会ひら
- 19・西八区老人クラブ結成総
- 27・一休が丘公民館完成式
- 29・町農協合併祝賀式ひら

◇五月

- 27・町内防災パトロール行な
- 30・昭和四十三年度建設事業

◇六月

- 6・町社協總會ひらく
- 16・町の花「ヒラドツヅジ」
- 27・町議会ひらく

◇七月

- 9・大住保育所しゅん工式
- 12・社会を明るくする運動
- 19・大住配水池拡張工事起工
- 20・松井公民館着工

◇八月

- 1・「町民と警察のつどい」
- 6・町農業委員会、改選後の
- 17・多々羅中垣内橋しゅん工
- 19・府茶生産者大会ひらく
- 20・「住民のしおり」発刊
- 21・空中薬剤散布実施
- 26・町政協力員研修会ひらく

◇九月

- 13・松井公民館上棟式
- 13・町敬老金ことしは三百
- 77・七十二名に総額五十一万

◇十月

- 1・「田辺町茶まつり」ひら
- 1・山崎区老人会結成式
- 6・田辺町消防団特別訓練査
- 7・京都府戦没者追悼式ひら
- 12・第五回田辺町運動会ひら
- 25・26 田辺町敬老会ひらく

◇十一月

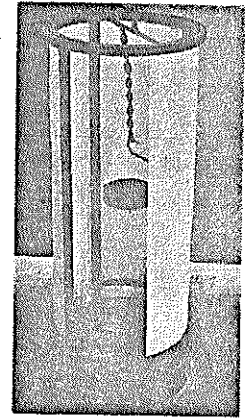
- 1・京阪東ネオポリス起工式
- 3・第一回田辺町民文化祭ひら
- 8・町の人口、二万人を越す
- 8日現在で二万三十五名
- 9・郡産業祭、宇治田原町で
- ひらく、各分野で多数表
- 彰を受く
- 14・道路審議会て枚方―水口
- 彦根線の国道昇格さまる
- 16・町対抗野球大会ひらく、
- 田辺町チーム、牌やく三
- 連勝。
- 19・秋のあっせん苗木を配布
- 20・「わが町たなべ」写真展
- ひらかる
- 21・一休寺開山忌
- 22・暮しの中の憲法学習ひら
- かる
- 30・興戸区公民館上棟式

◇十二月

- 7・田辺町農協農業祭ひらく
- 7・松井公民館しゅん工式
- 7・田辺町史をお持ちの方
- は、巻末年譜に追録されると町の
- 歩みが一目でわかります

昭和四十四年 町のあゆみ 年 譜

おしらせ 住民室 おしらせ



ふるさとの民具④

あんどん

町長と対話のつどい盛況

第二期・十一か所終る

町長の発案で町内の各区、自治会を巡回し、住民のみなさんのナマの声をきく、広報公聴活動の「町政を語る会」もこととして三年目をむかえました。

ことし第一期として九月二十四日の水取をトップに普賢寺、一休が丘、興戸、新興戸、西八、東林、田辺、江津、多々羅、天王を巡回しました。

この集いには、町長、助役、収入役をはじめ、各課長がそれぞれ分担して、夜八時から十時すぎまで熱心に話し合っていたいただきました。町ではそれらの貴重なご意見をまとめ各担当課であらためて総点検をして解決してゆくことになっています。

話し合いのおもなテーマとなったものは、やはり、新都市計画法

戦没者叙勲をまだ 受けておられない 遺族に

今後の戦争で昭和十二年七月七日から二十年九月一日までの間に死亡された方がたに勲章や勲記が贈られています。

これには、軍人、軍属を退職されてから、昭和二十七年四月二十七日までの間に在職中の公務傷病が原因で死亡された方も該当します。しかし、昭和十五年四月二十九日以前の死亡に際し叙勲された方は除かれます。

また勲章を受けとっておられない元軍人、軍属、準軍属(軍属に準じて処遇された方)が数多くおられる状態です。ご遺族の住所が不明で上申できませんのでお心あたりの方は町役場福祉課へ至急ご連絡ください。お申し出のとき、勲章を受け希望のある方は「戦没者叙位叙勲未受領者届書」用紙の交付を受け、ご記入のうえ提出してください。

新委員さん紹介

- ◇公平委員 北川仁一さん(田辺) 新任
- ◇教育委員 奥西幸夫さん(草内) 再任
- ◇町決算特別委員会(○)は長△副委員長
- 福田貞造△村上二三男、小林正道、保田信雄、古川文三、喜多源一郎、藤本菊松、安岡正夫さんら八委員
- ◇議会選出監査委員
- 吉田彦司さん
- ◇公営住宅対策委員
- 藤本菊松△高村安夫、大崎新造、北川朝二、榑原時造、寺本幸男、古川文三、藤井儀一さんら八委員
- ◇環境衛生センター設置対策委員
- 寺本幸男△小林正道、大崎新造、岡本次郎、西村昭男、谷村安夫、福田貞造、藤本菊松、保田信雄さんら九委員

町の人口、2万人をこえる!

町の人口が二万人を越えるのはいつかと、みなさんに関心をもたれていました。この十一月八日現在で二万人を越え二万三十五人となりました。

その内訳は、男九千八百四十四人、女一万二千二百一十一人です。

これも、ことし河原に建った府営田辺住宅の第一期分の三百六十戸の入居が始まり住民登録をした世帯が多いのが増えた原因です。未登録分を入れるとさらに増えますが、こんごは大団地などで急激な増加も見込まれ、五十五年には約六万五千人の人口を町では推定しています。

石油ストーブの あつかい方

あつかい方

- 冬をむかえて火災シーズンにはいります。毎年、石油ストーブによる火災があつとを絶ちません。しかし、これも、大半は取り扱いの不注意から——つぎの点を十分注意してください。
- 取扱説明書を家族じゅうよく読んでおくこと。
- 点火の際、よく燃えついたかどうか確かめること。
- 燃えている時に、油を補給するのはもつてのほか。
- 火のついているまま、持ち運ばないこと。
- 使い終わったら、火が消えたかどうか確かめること。
- いつも、きれいに掃除をしておくこと。
- 置き場にご注意。
- フスマ、障子など燃えやすいものそばはさけないもの。
- (「NHKだより」から)